

吉田 信夫さんに瑞宝双光章



元北辰小学校長の吉田信夫さん(余市町在住)に内閣総理大臣から瑞宝双光章が授与され、4月5日に勲章の伝達と町からの記念品を贈呈しました。

吉田さんは昭和28年に教諭となられて以来、40年の永きにわたり後志管内の小中学校で子どもたちの教育に尽力され、温かい包容力と誠実な人柄により周囲からの信頼も厚く、学校教育の充実と振興に大きく貢献されました。

平成3年から退職するまでの2年間は、北辰小学校長として、どの子どもにもわかりやすく楽しい授業の充実を学校経営の中心におき、教員の自発的な研修実践や研究への取り組みを奨励するなど、学校ぐるみでの取り組みが高く評価されました。

また、校外教育にも力を注ぎ、潤いと活力のある学校づくりに努め、共和町主催の花壇コンクールで優秀賞を受賞するなど、児童の健全な心の育成に多大な成果を挙げました。

こうした様々な活動に対する多大な功績が認められ、この度の受章となりました。

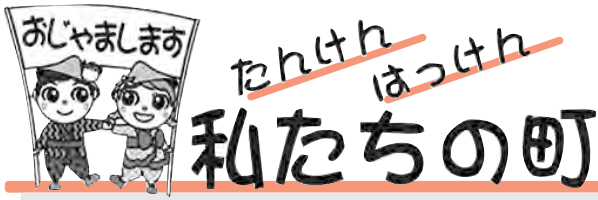
交通事故のない町をめざして 春の交通安全運動を展開

4月の春の全国交通安全運動期間を迎えるにあたり、町内の交通安全意識を高めるため、4月5日、共和町交通安全運動推進委員会主催の交通安全啓発パレードを行いました。

役場庁舎前で行われた出発式には、岩内警察署員や交通安全指導員、役場職員ら約100人が参加。共和町交通安全運動推進委員会の山本栄二会長と鈴木直人岩内警察署長から「令和元年から現在まで、町内では交通死亡事故によって5人の尊い命が失われている。このような悲しい出来事がこれ以上繰り返されないよう、関係機関と協力し、交通安全運動を展開することで、町民一人ひとりに交通安全意識をしっかりと持っていただきたい」と挨拶がありました。

出発式の後、岩内警察署のパトカーを先頭に12台の車両で町内主要幹線道路を走行し、ドライバーや沿道の歩行者に交通安全や交通マナーの向上を呼びかけました。








あらかき やすはる
荒木 保晴 巡査部長

昭和44年4月27日、札幌生まれ札幌育ち。北海道警察採用後は札幌西警察署、木古内警察署、小樽警察署、門別警察署を経て、令和3年4月から岩内警察署発足駐在所に着任されました。

発足の駐在さん

今回は、4月に岩内警察署発足駐在所に赴任された荒木巡査部長をご紹介します。

荒木巡査部長に聞きました

-  ○趣味はなんですか？
読書です。小説が好きです。
-  ○共和町の印象を教えてください。
町民のみなさんの笑顔が素敵で、空気おいしいところだと思います。
-  ○住民の方にメッセージをお願いします。
末永く仲良くしていただけると嬉しいです。これからよろしくお願いします。



荒木巡査部長は親しみやすく、とても気さくな方なので、すぐに地域の頼れる存在になってくれると思います。

交通ルールを守りましょう！ 交通安全青空教室

4月14日と21日に、西陵小学校と北辰小学校で交通安全青空教室が開催されました。

児童は、横断歩道の渡り方やスクールバスとダミー人形を使い大型車の内輪差について学んだり、自転車の点検や8の字やスラロームの走行練習を行い、安全な乗り方を確認しました。また、バスの運転席からは見えない死角があることも確かめていました。

真剣な表情で講師の警察官の話を聞いていた子どもたちは、みんなで交通ルールを守って、安全に登校したり遊んだりすることを約束していました。



旗の波で交通安全啓発

4月12日に、国道276号宿内バス停付近で、地域活動支援センター前田の家による交通安全「旗の波」が行われ、利用者など16名が通過するドライバーに手旗でスピードダウンを呼びかけました。

これから本格的な観光・行楽シーズンに入るこの時期は、町内でも交通量が大幅に増加し、交通事故の発生する危険性が高くなります。スピードダウンと全席のシートベルトやチャイルドシートの着用で事故防止に努めましょう。



祝！！入園・入学

4月6日に各小学校で、7日には中学校で入学式が行われました。

新入学児童・生徒は緊張した面持ちで式に臨みながらも、名前を呼ばれると元気よく返事をして、これから新しく始まる学校生活に期待で胸を膨らませていました。

また、8日は両幼児センターで入園式が行われ、新入園児は初めての集団生活に向けて元気な第一歩を踏み出していました。





佐藤

なぎ
凧ちゃん



村田

ひろたか
央高ちゃん



林

たくま
拓磨ちゃん



日吉

あiko
采子ちゃん



浦口

あoi
宝央ちゃん



かかし文芸

共和短歌会

病床で吾と繫管点滴の

ベットの生活……もうすぐ春に

小林 初枝

雪野原歩く足跡ポツポツと

穴あく如く靴あとあり

佐藤 和子

エゾ富士に笠雲かかりて寒の中

広がる白妙朝日がキラリ

西島フヂエ

すつきりと長く伸びたる運命線

いまどの辺か知りたき私

浅井 文博

共和俳句会

試歩の杖春の大地に支えられ

雨夜 正義

忘れぬ筍ご飯ふーふーと

青木 昭三

ほろ苦き遠き想い出ふきのとう

雨夜 礼子

気合ほど体動かぬ春炬燵

酒谷 定子

春光の農舎にたちて亡夫のこと

舟山フミ子